

地域懇談会（県北ブロック・玉名地域）の概要 について

1. 開催日時等

日 時：平成17年11月11日（金）10:00～12:00
場 所：玉名地域振興局 4階「会議室」

2. 出席者

関係市町村の長及び議長：

荒尾市、玉東町、南関町、長洲町の長及び議長（計8名出席）

委 員：中川会長、北田委員、大久保委員、三津家委員、蔵原委員、
田中委員、中村（義）委員、米谷委員、萩嶺委員（計9名出席）

事務局：川口市町村総室長 他

3. 主な意見等

- ・ 当市が抱える課題（地方競馬・病院の運営問題）の解決が先で、その後で近隣と合併を考えたい。
- ・ 地方競馬については、この1～2年で、市民病院については5～10年スパンで赤字解消を行い、行財政改革をしっかりとやって、次のステップに繋がりたいが、課題解消には5～6年はかかると考える。
- ・ 県には、特に合併のメリットの整理をしてもらいたい。また、道州制の議論を視野に入れて構想を検討して欲しい。
- ・ これまでの合併協議の結果、単独となっている。旧法が終わって、即、また合併の問題を持ち出すのは難しいと考えている。町も、新法下での合併を目標に行革に取り組んでおり、行革を行った自治体同士の合併こそ、意義がある。基本的には、小さな役所が望ましいと考えている。
- ・ 次の合併は、荒・玉地域一体ではないかと考えている。合併検討の時期は、新玉名市次第である。玉名市の合併の結果が良ければ新法下（5年内）だろうし、悪ければ10年後以降かも知れない。
- ・ 住民や議会の総意とは何かの問題もあるが、合併は必要との思いは今も変わらない。しかし、旧法下での合併検討、協議会解散から1年も経たないのに、住民に対して次の合併をと、なかなか持ち出せない。
- ・ 住民は、いずれ次の合併があるとの認識は持っていると言っている。
- ・ 次の合併検討の時期は、新法下の5年内は無理と考えている。次の合併は、荒・玉地域一体と考えている。
- ・ 合併しなかったからこそ、自分達を見つめ直すことができた。国・県に頼らない自治体経営を考えている。住民にオープンにしていくことによって住民と一体となったまちづくりができるのではと考えている。
- ・ いずれは、合併は必要と考えているが、今は、合併の事は頭にないし、単独での存続の道を考えているところ。